



子ども食堂とはなんだ

小玉 勇 議員

子どもの居場所作りと考える

町 長



子ども食堂設立への一歩

子どもの貧困
子どもへの虐待が報じられている。貧困も原因の一つと思うが町ではどう認識しているのか。
町長 昨年、県が実施した「生活実態調査」での判断では、子どもの貧困率は16%で全国平均よりも2%ほど高い数字になっている。しかし町は、所得の多少にかかわらず子どもたちの日常生活の維持や教育に支障がある世帯にはこれまで同様、できる限り支援していく。教育長 20年後、30年後、成人なった時に貧困の連鎖を断ち切ることができ

子ども食堂
「子ども食堂(※)」を実施していきたいとの話を聞いているが、町の支援はあるのか。
町長 「子ども食堂」とは、一つの子供の居場所づくりであると考えている。県では運営団体に対し助成する制度も始まっている。

保健福祉課長 「子ども食堂」についてのアンケートでは、所得の多い少

ないに関係なく約半数の家庭で参加させたいとの回答であった。その理由としては、様々な人達との交流を通じ人間的にも成長してもらいたいと考えており、またその中で宿題をするなどの学習支援にもつながり、大学生たちによる学習ボランティアの輪につながればと期待している。



みんなで食べる食事は、こころも安らぐ

※「子ども食堂」
一人で食事したり、家庭の事情で食べられなかったりする子どもに、地域の大人が無料または低額で食事を提供する取り組み。
貧困家庭の子どもへの支援に限らず地域の交流の場としての役割を担っていることも多い。

町の考えを問う

7人の議員が一般質問

小玉 勇 議員

- ◆子どもの貧困を町ではどのように考えているか
- ◆町道とされていない生活道路や小路も町で除雪すべき

11 ページ

村形 昌一 議員

- ◆町内商工業の振興を図れ
- ◆地元企業への受注機会確保と優先発注を
- ◆起業する者を育成し、町へ活力を

12 ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆町民の命を大切にする町政を
- ◆国民健康保険税の負担軽減について

13 ページ

関 幸悦 議員

- ◆流雪溝整備について
- ◆福祉バスの見直しについて

14 ページ

星川 久 議員

- ◆地震災害時の対策は

15 ページ

齋藤 公一 議員

- ◆最上川の舟運文化を町内外に発信すべきだ

16 ページ

大山 二郎 議員

- ◆幼児教育無償化の対応は
- ◆インフルエンザ予防注射について
- ◆消防分署建設における周辺道路整備について

17 ページ

一般質問とは…

議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質することをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では7議員が一般質問を行いました。

